



秋田雨雀・土方与志記念 **青年劇場**

# 族譜

梶山季之 〓 原作  
ジェームス三木 〓 脚本・演出

2008/6.29(日)

島根県民会館 中ホール ●開演14:30

共催：「族譜」を観る会松江  
秋田雨雀・土方与志記念青年劇場

後援：駐日韓国大使館・韓国文化院・在日本大韓国民団中央本部  
在日本大韓国民団島根県本部・島根県日韓親善協会連合会  
松江地区日韓親善協会・島根県・島根県教育委員会・松江市  
松江市教育委員会・山陰中央新報社・朝日新聞社松江総局  
毎日新聞社松江支局・読売新聞社松江支局  
産経新聞社松江支局・新日本海新聞社松江支社  
中国新聞社松江支局・島根日日新聞社・日本海テレビ  
山陰中央テレビ・財団法人人間自然科学研究所  
小松電機産業株式会社

協力：松江市民劇場

美術 ● 石井強司 照明 ● 横田元郎 音楽 ● 飯島優  
音響効果 ● 菊池弘一 衣裳 ● 宮岡増枝  
舞踊指導 ● 白洪天 韓国語訳・指導 ● 金聖守 馬政熙  
舞台監督 ● 荒宏哉 演出助手 ● 板倉哲  
製作 ● 福島明夫 製作助手 ● 大屋寿朗 川田結子  
舞台監督助手 ● 松橋秀幸  
大道具・小道具 ● 劇団舞台美術部  
演奏協力 ● 朴根鐘 韓服製作 ● 朴謹呂  
照明オペレーター ● ライティングユニオン  
音響効果オペレーター ● 石井隆  
協力 ● かねこ道具工房株式会社 高津映画装飾株式会社  
株式会社神田屋(はぎもの) 株式会社丸善(かつら)  
有限会社伊東運輸 演劇工房



「族譜」を観る会 松江会長  
財団法人人間自然科学研究所  
理事長 小松 昭夫

## ■「族譜」上演にあたってのご挨拶

「歴史に盲目な人は、現在においても盲目である」竹島・独島領有権問題を単独に捉えるのではなく、近現代史のなかで総合的に捉え、制御された対立エネルギーを、世界で最も大きなテーマとなっている環境問題・健康障害の解決のエネルギーに置き換える。そのような想いから、「尊厳の命」をテーマとするこの演劇「族譜」を観る会松江の会長を引き受けました。

戦後60年が経過してから、アメリカ、カナダ、オランダ、フィリピン、EU議会で日本政府に対する従軍慰安婦への謝罪要求決議が可決されました。

被害・加害の歴史に関して認識の違いを共有し、怨念を総合的に捉え、止揚に導き、地球共生社会をつくるための資源として生かす智慧と勇気が問われています。古代日本の平和の発祥地ともいわれるこの地での上演を契機として、朝鮮半島とその対岸から世界に先駆け、恒久平和に至る共生の文化を生む人類史的役割を皆様とともに果たすことを通じて、郷土の発展を考えようではありませんか。

## ■ 劇団ご挨拶

青年劇場「族譜」公演に足をお運びくださりまして、まことにありがとうございます。また、この厳しい時期に公演の実現に御尽力いただきました実行委員会のみなさまにも、合わせてお礼申し上げます。この「族譜」は、私たち青年劇場の長年にわたる韓国との交流の成果とも言えるべき作品です。韓国の演劇人との交流の中から生まれたレパートリーは「鮮やかな朝」(森脇京子=作、中野千春=演出、1996年度作品)、「カムサハムニダ」(飯尾憲士=原作「ソウルの位牌」より、瓜生正美=脚本、林英雄(イム・ヨウウン)=演出、2001年度作品)などがあり、「17歳のオルゴール」(森脇京子=作、堀口始=演出)と、「銃ロー教師・北森竜太の青春」(三浦綾子=原作、布勢博一=脚本、堀口始=演出)の2作品は青年劇場が韓国を訪れて上演し、交流を重ねてきました。とりわけ2005年の「銃ロー教師・北森竜太の青春」韓国公演は韓国国内14都市を40日間にわたり巡回するという大規模な交流の機会でした。このときに、暖かい気持ちで作品を受け止めてくださった韓国のたくさんの人たちから「演劇を通じて日本の良心と初めて触れ合えた」という感想をいただき、演劇の持つ力を改めて教えられました。また、その公演の折に、「日本国内ではこういう歴史に踏み込んだ作品を上演しているのか」と問われたことも心に残りました。私たちは、日本の国内でも歴史の重みを見つめたいと考えました。梶山季之氏の「族譜」は以前から劇団の中でも話題になっていた作品ではありませんでしたが、ジェームス三木氏とも話し合い、改めて今この時期にぴったりの作品ではないかと思いが一致し、氏の脚本・演出により舞台化することにいたしました。2006年の紀伊國屋サザンシアターの初演では、13回すべてのステージを満席のお客様が埋めてくださり、また、その年のベスト作品としてこの作品が年間回顧で評論されるなど、期待を超えたご高評をいただきました。ご覧になった少なくないお客様からの「是非、全国公演を」という励ましに背中を押され、今年初めて全国公演に踏み出します。公演の後、歴史に思いをはせ、未来に向けた、今を語り合う機会がたくさん生まれることを願っております。

青年劇場 代表 福島 明夫

## ■「族譜」を観て(全国公演の感想より)

自分の無知さや思い違いを痛感させられた。でも、知ることができて本当に良かったと思う。

確かに内容は重かった。しかし、終演から時間が経つにつれて、舞台上で語られる歴史的な事実を私たちが知らなければ、という気持ちの方がだんだん大きくなっている。

「族譜」とは、単なる家系図ではなく、その家の当主の目を通して見たその時代の真実の姿を書いたもの一娘の玉順(オクスン)の口から語られる族譜に書かれた真実は、日本人として耳を覆いたくなるような内容で、驚きと疑いで聞いているのがやっとなかった。

そして、主人公の谷六郎のように否定や言い訳を探しながら、それでも歴史の真実として受け入れた時、人間の残酷さや戦争という時代の愚かさに目をつくってはいけなと思った。

この物語を観ながら、ずっと「北風と太陽」の話が頭の中をめぐっていた。目的のためなら手段を選ばない日本軍のやり方は、親日家の人々の心をえぐり、強かな反日精神を芽生えさせてしまう。

人の心を大切にすることは、時代や民族に関係ない。日ごろから気をつけなければと改めて考えさせてくれた。

HNS推薦図書	
関妃暗殺 一朝鮮王朝末期の国母一	角田房子著 (新潮文庫)
魔法の経営ベンチャービジネスの雄	小松昭夫に学ぶこれからのビジネス 早川和宏著 (三和書籍)
資本主義2・0	宗教と経済が融合する時代 水野和夫・島田裕巳著 (講談社)
ハイ・コンセプト	「新しいこと」を考え出す人の時代 ダニエル・ピンク著 大前研一訳 (三笠書房)
一度も植民地にならなかったことがない日本	デュラン・れい子著 (講談社+α新書)

本公演についてのご意見・ご感想をお寄せください。

URL  
<http://www.hns.gr.jp>

**HNS**  
Human Nature Science  
財団法人人間自然科学研究所  
〒690-0046  
松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内  
TEL 050-3161-2490 FAX 050-3161-3846